

公益社団法人日本ホッケー協会  
平成30年度第3回理事会議事録

- I. 日 時 平成30年9月8日(土)午後1時～4時30分
- II. 場 所 岸記念体育会館1階会議室102  
東京都渋谷区神南1-1-1
- III. 出席者(理事25名中23名出席)  
(代表理事) 中曽根弘文  
(理事) 内藤貴詞・中村康夫・寺本祐治・安西浩哉  
真 喜代司・瀧上正志・伊吹洋二・宮野正喜・中村真理  
千野雅人・今庄充世・馬場治男・間野義之・渡辺健一  
矢野茂樹・石川伸男・埴岡隆・大久保文義・平尾 豊  
宮田 知・奥田竜子・井上雄介  
(監事) 田中 誠

IV. 審議事項

- (1) 委員会副委員長・委員の選出
- (2) 平成30年度第一次補正予算案
- (3) SOMPO CUP 女子ホッケー4ヶ国いばらき国際大会
- (4) 損害保険ジャパン日本興亜(株)からの出向者受け入れ
- (5) 中村康夫前事務局長の退職金について
- (6) ホッケーアンバサダー就任の件
- (7) 2019女子ホッケーワールドシリーズ(8か国大会)の組織委員会

V. 報告事項

- (1) 第18回アジア大会の結果
- (2) 東京2020オリンピック準備状況
- (3) チャンピオンズトロフィー参加、FIHの次回総会及びWCについて
- (4) 新ロゴマーク・アンケート結果と今後の方針
- (5) 2018-2020普及委員会事業計画
- (6) 新たなオフィシャル・サプライヤー候補について
- (7) 書籍の出版について
- (8) JHAのメールアカウント(@japan-hockey.org)の運用
- (9) JHA中長期ビジョンの構築に向けたタスクフォースの設置について

## VI. 議事内容

### 1. 開会

- (1) 冒頭、新任の渡辺理事と埴岡理事が自己紹介を行なった。
- (2) 定刻、坂本事務局長が開会を宣言した後中曽根会長がご挨拶された。
- (3) 坂本事務局長が理事 25 名の内 23 名出席しているので本理事会は定款第 39 条の規定に定める定足数を満たしており、適法に成立した旨を告げた。
- (4) 定款第 38 条に基づき中曽根会長が議長に選出された
- (5) 議長が議事録署名人に田中誠監事と寺本常務理事を、議事録作成人に織井隆司事務局員を指名した。

### 2. 「審議事項」議事経過及びその結果

- (1) 委員会副委員長・委員の選出  
各委員長が配布された資料に基き説明し、承認された。
- (2) 平成 30 年度 J H A 第一次補正予算案  
収支予算は 2700 万円の赤字から 1300 万円の赤字へ縮小した。しかし、女子 4 ヶ国大会で大幅な赤字が見込まれる。来月の男子 U 2 1 がマレーシア遠征を行なうことになったが当初予算に入っていなかったため J O C に追加申請する、という説明があった。  
アジア大会で金メダルを獲得したので、それによって助成金が増えるよう交渉することが提案された。  
第一次補正予算案は原案通り承認された。
- (3) SOMPO CUP 女子ホッケー4 ヶ国いばらき国際大会  
収支見込みはマイナス幅を 840 万円まで縮小したものが提出された。招聘相手がアルゼンチンから韓国に変わったことで 140 万円費用が増えること、オーストラリア招致委員会（茨木市）からも収入を得るように努めることの説明がされた。  
J H A だけでなく茨木市等を含めた大会全体の収支を明らかにするこ

と、来年度実施予定の 8ヶ国大会に向けてよい経験を積むこと、予算についてさらに改善を目指すということが提案されたあと、承認された。

(4) 損害保険ジャパン日本興亜(株)からの出向者受け入れ

これまでトップリーグ連携機構で間接的にホッケー協会の支援業務を担当していた方で直接の支援に切り替えたいという損保ジャパンの意向に基づき受け入れたいと説明があり、承認された。

(5) 中村康夫前事務局長の退職金について

専務理事専任になり、事務局長の職務については退職になるので規程どおりの退職金を支払いたいと提案があり、承認された。

(6) ホッケーアンバサダー就任の件

「ロッチの中岡氏」にオリンピック前の各種行事に参加してもらうことの交渉開始の許可を得たいと提案された。

交渉に取り掛かることについて承認された。

14時30分 中曽根議長、宮野理事退席。以降内藤副会長が議長代行を務める。

(7) 2019 女子ホッケーワールドシリーズ（8か国大会）の組織委員会

まだ広島で開催することについて広島県協会から確約は得ていないがその方向で進めている。予算についてもマンパワーについてもJHAに負担してもらいたいと要望されていて言うならば会場を借りてJHAが運営する形になる。先ず組織委員会を組成したいと説明がされた。

東京2020オリンピックの成功に向けて経験を積む為を開催する大会なので、東京2020オリンピックを直接支える立場になる東京協会が経験を積める体制を作ること、運営について広告代理店等プロの力を利用することも検討することを条件に中村専務理事が組織委員長に指名され、受諾された。今後速やかに組織委員会設置を進める。

3. 「報告事項」について

(1) 第18回アジア大会の結果

- ・男女とも金メダル獲得
- ・女子は10チームだったが全勝優勝した。

各国がベストメンバーで望んできた大会で優勝は価値ある。WCで悔しい思いをしたが結果を出せた。アンソニーファリーHCも就任して1年3ヵ月経過し国際試合も49試合こなして、東京2020オリンピックを目指してがんばっている。

- ・男子は12チーム、インドに負けたが気持ちを切り替えて勝ち進めた。アイクマンHCが積極的な攻撃を指導している結果が出た。
- ・東京2020オリンピックのアジア枠を日本がとってしまったので、ヨーロッパのチームの出場が増えると思われる。強化はヨーロッパ対策を考えたい。

#### (2) 東京2020オリンピック準備状況

- ・来年のテストイベントは8/17～21に組織委員会主催で行なわれる。男女4ヶ国ずつの大会になる。
- ・テストイベント後も工事は続くので利用については未定。

#### (3) チャンピオンズトロフィー参加、FIHの次回総会及びワールドカップ(WC)について

- ・女子チャンピオンズトロフィーは11/17～25に上海で開催される。
- ・FIH総会の2020年日本開催を打診されている。断る予定。
- ・2022年のWC開催も打診されている。ホストフィーが1億1千万円かかる見込み。立候補表明しない予定。

#### (4) 新ロゴマーク・アンケート結果と今後の方針

新デザインは社会人選手権のアンケートの結果を待つて進める。

#### (5) 2018-2020 普及委員会事業計画

各都道府県から普及委員を推薦いただくよう進めているが各理事から各都道府県協会に普及委員推薦を働きかけてもらいたい。

#### (6) 新たなオフィシャル・サプライヤー候補について

マクダビッド社のサポーター、ZYGOSPEC社のサングラスの紹介があった。

#### (7) 書籍の出版について。

出版する本の印税をJHAに寄付したい、そのことを出版の宣伝に使いたいがいかが、と問い合わせがあった。慎重に対応する。

- (8) JHAのメールアドレス (@japan-hockey.org) の運用  
委員長の認めた委員にはJHAのアドレスを持たせる方向で検討する。
- (9) JHA中長期ビジョンの構築に向けたタスクフォースの設置について  
次の3つのテーマを考えていると説明があった。  
「金メダルを取るため」  
「大井ホッケー場の恒久化」  
「人材の育成活用」  
12月の理事会でタイムスケジュールを出す予定。
- (10) その他
- ①取材対応について  
ガイドラインを設定し、選手に取材申込があったら広報に届ける仕組みが必要と考えるという意見が出された。  
広報委員会でガイドラインを検討することと総務委員会で規程の整備を進める事になった。
- ②東京2020オリンピックを目指したアンパイアの育成が順調に進んでいるとの報告があった。アンパイア全員の英語力向上を目指して欲しいと提案があった。
- ③アジア大会の祝勝会は早めに開催した方がよいとの提案があった。

以上をもって議事の全部の審議を終了したので、議長は午後4時30分、閉会を宣した。